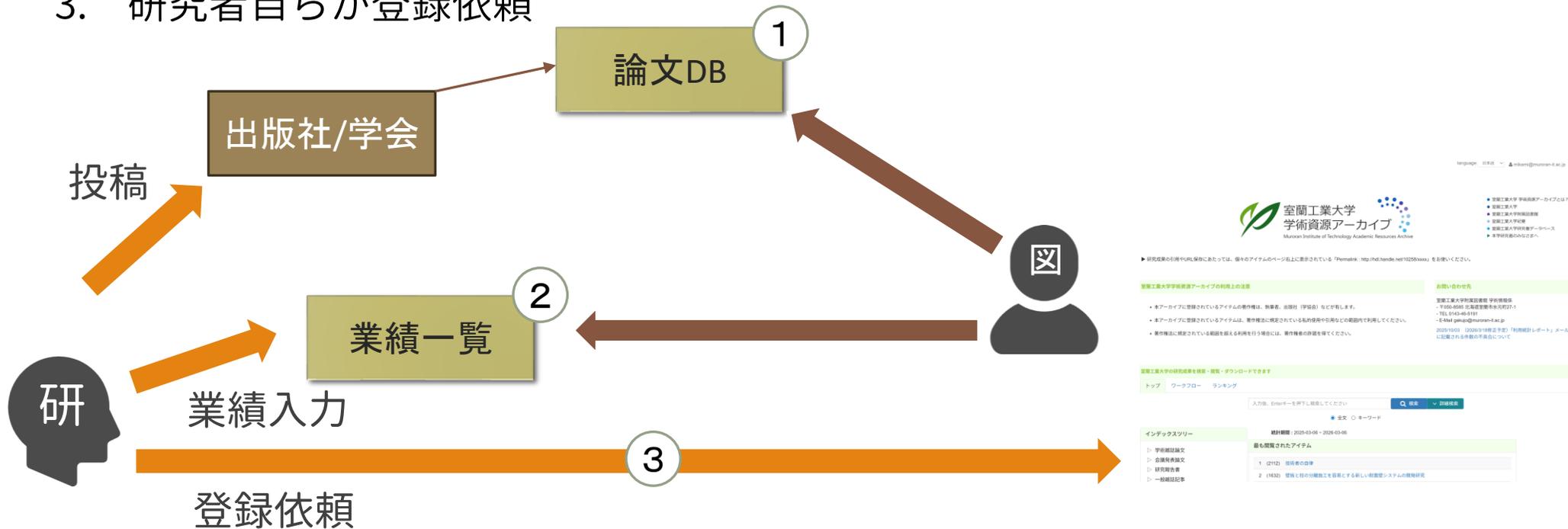


室蘭工業大学における 業績評価DBと連携した 論文公開

室蘭工業大学総務広報課図書学術情報室 学術情報係 三上絢子

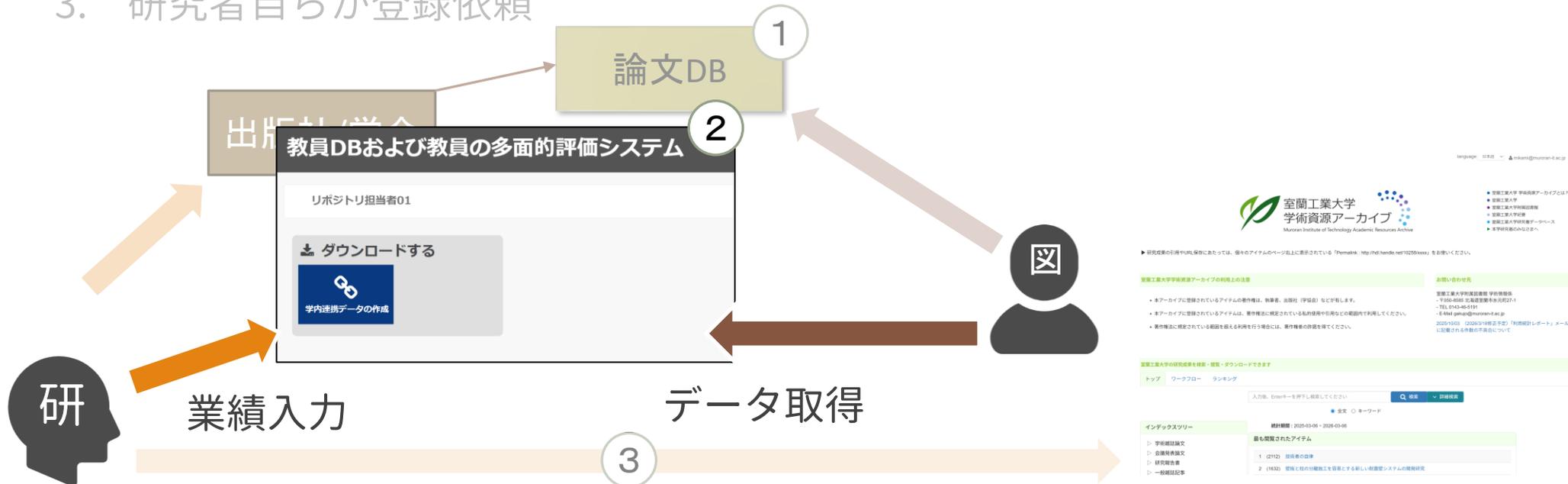
(一般に) 自機関の研究員の論文を把握する方法は？

1. 論文DB (例: Web of Science、Scopus) から検索
2. 業績一覧 (例: researchmap、各機関の研究者DB)より取得
3. 研究者自らが登録依頼



本学での論文の把握方法（2. 業績一覧から）

1. 論文DB（例：Web of Science、Scopus）から検索
2. 業績一覧（例：researchmap、各機関の研究者DB）より取得
3. 研究者自らが登録依頼



業績評価DB使用のメリット/デメリット

メリット

業績評価につながるので、
研究者が積極的に論文情報を入力してくれる場合が多い→網羅度高い

研究者はリポジトリ用メタデータを入力する必要はない
(業績入力との二度手間にならない)

デメリット

DOIを入力してくれないと、探すのに一手間かかる

共著論文を複数の研究者が「業績」として登録する→重複に注意

従来のリポジトリ登録ワークフロー①

年2回実施（5月頃、11月頃）

→業績入力メのスケジュールに合わせている

一回につき300件程度（本学研究者数は約170人）

教員DBの機能で、Excelを出力可能

（リポジトリへの連携は手動）

検索条件			
リポジトリ公開可否設定日	20260304 (年月日) ~ 20260304 (年月日) ・西暦で入力してください。例：2005年5月1日→20050501		
即時オープンアクセス義務化対象の有無	<input type="radio"/> 即時OA有 <input type="radio"/> 即時OA無 <input checked="" type="radio"/> すべてのデータ		
リポジトリ公開可否	<input type="radio"/> 公開する <input type="radio"/> 公開しない <input checked="" type="radio"/> すべてのデータ		
リポジトリURL	<input type="radio"/> 登録有り <input type="radio"/> 登録無し <input checked="" type="radio"/> すべてのデータ		
出力業績 (<input checked="" type="checkbox"/> :すべてチェック)			
出力	業績名	出力	業績名
<input checked="" type="checkbox"/>	著書	<input checked="" type="checkbox"/>	論文
<input checked="" type="checkbox"/>	国際会議Proceedings	<input checked="" type="checkbox"/>	論説・解説
<input checked="" type="checkbox"/>	研究報告	<input checked="" type="checkbox"/>	学会等発表
<input checked="" type="checkbox"/>	作品	<input checked="" type="checkbox"/>	教材開発

更新	所属	キャンパスID	氏名	氏名(ローマ字)	職名	メールアドレス	シリアル番号	退職
	室蘭工業大学	10850002	テストユーザ	test user	学長		20126358	
	室蘭工業大学	16850002	室蘭 太郎	MURORAN Taro	助教	m-taro@sra-tohoku.co.jp	20126359	
	数理学部	10000001	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110001	
	数理学部	10000002	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110002	
	数理学部	10000003	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110003	
	数理学部	10000004	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110004	
	数理学部	10000005	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110005	
	数理学部	10000006	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110006	
	数理学部	10000007	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110007	
	数理学部	10000008	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110008	
	数理学部	10000009	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110009	
	数理学部	10000010	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110010	
	数理学部	10000011	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110011	
	数理学部	10000012	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110012	
	数理学部	10000013	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110013	
	数理学部	10000014	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110014	
	数理学部	10000015	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110015	
	数理学部	10000016	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110016	
	数理学部	10000017	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110017	
	数理学部	10000018	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110018	
	数理学部	10000019	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110019	
	数理学部	10000020	内田 太郎	Uchida Taro	准教授	uchida@numu.nuap.ac.jp	20110020	
	人間・社会学部	10000021	山田 太郎	Yamada Taro	准教授	yamada@numu.nuap.ac.jp	20120001	
	人間・社会学部	10000022	山田 太郎	Yamada Taro	准教授	yamada@numu.nuap.ac.jp	20120002	

他の論文登録方法との比較

論文DB（Web of ScienceやScopus）を機関名で検索

× 国内の論文は検索できないことが大半

○ DOI含めメタデータが整備されている

ResearchMap→JAIRO Cloudの連携（開発中）*

本学事例と同じく業績DBに基づく方法

×現状1件単位でのインポート（本学は一括リスト出力＋手動）

*林正治, JAIRO Cloud：researchmap連携機能についての最新状況. 2025年度第1回JPCOAR Webinar
https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/record/2000621/files/202501-2_jpcoar_webinar.pdf

即時オープンアクセス（OA）義務化対応に向けて

2024年度、本学では以下を策定

- 室蘭工業大学オープンアクセスポリシーおよび実施要領
- **即時OA義務化対応要領**

即時OA対象論文(+根拠データ)は、以下のいずれかにより公開

- OA出版
- 共著者が別の機関リポジトリに掲載
→本学機関リポジトリには掲載不要
- 本学機関リポジトリへの掲載
→**雑誌掲載後2か月以内に研究者は業績DBに入力申請、
図書館は速やかに対応**

即時義務化OA対応改修（2024～2026）

対応すべき内容（本学オープンアクセス対応要領に基づく）

- 本学機関リポジトリへの掲載
→ **（即時OA義務化対象業績は）**
雑誌掲載後2か月以内に、研究者が業績DBに入力申請、
図書館は速やかに対応

改修前の業績DBで出来なかったこと

- どの業績が「対象の公的資金」を使っているか不明
- 別の機関リポジトリで公開されているか、わからない
- 図書館側UIに即時OA義務化対象を絞りこむ機能がない

即時OA義務化
対象の判定

即時OA義務化対応による業績DBの改修内容

研究者側UI：即時OA義務化対象か否か、選択する項目を追加
(対象業績を本学機関リポジトリで公開しない場合は理由の入力が必須)

<p>即時オープンアクセス義務化対象</p>	<p>国または資金配分機関により即時オープンアクセスを求められている研究成果に該当する (説明:https://muroran-it.cybozu.com/g/bulletin/view.csp?cid=18&aid=2964)¹)</p> <p><input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p>	<p>即時オープンアクセス義務化対象となる研究業績について</p> <p>下記の条件すべてに当てはまる研究成果は、即時オープンアクセス義務化の対象となります。</p> <ul style="list-style-type: none">研究成果は、表1に記載のある学術論文を主たる成果とする競争的研究費制度の2025年度以降の新規公募分を用いている研究成果は、電子版として学術雑誌に掲載された査読付き学術論文、またはその根拠データである研究成果は、プレプリントや書籍ではない研究成果がデータである場合は、公表を前提とするデータである (査読過程で求められたデータや生データ等、公表を前提としないデータではない) <p>表1 学術論文を主たる成果とする競争的研究費制度 (2025/6/30現在)</p> <table border="1"><thead><tr><th>府省名</th><th>資金配分機関</th><th>制度名</th></tr></thead><tbody><tr><td>文部科学省</td><td>日本学術振興会</td><td>科学研究費助成事業</td></tr><tr><td>文部科学省</td><td>科学技術振興機構</td><td>戦略的創造研究推進事業*</td></tr><tr><td>文部科学省</td><td>日本学術振興会</td><td>戦略的創造研究推進事業</td></tr></tbody></table>	府省名	資金配分機関	制度名	文部科学省	日本学術振興会	科学研究費助成事業	文部科学省	科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業*	文部科学省	日本学術振興会	戦略的創造研究推進事業
府省名	資金配分機関	制度名												
文部科学省	日本学術振興会	科学研究費助成事業												
文部科学省	科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業*												
文部科学省	日本学術振興会	戦略的創造研究推進事業												

図書館側UI：

即時OA義務化対象に該当する業績を絞り込めるように

即時OA義務化対象の入力申請が通知メールでわかるように

合わせて、即時OA義務化についての説明ページを公開

即時OA義務化対応における課題点

- 実際には即時OA義務化対象ではないが、
(研究者側で) **即時OA**にチェックを入れているケースが多い
実際に即時OA対象の論文は、現時点まだ0件
(2026/2現在、対象の公的資金は「さきがけ」等、極めて限定的)
来年度からは(2026年度開始) 科研費が入ってくるので対象増加?
- 業績入力自体が遅い時期になりがち
(即時OA義務化対応要領では
「公開2か月以内」に申請と定める)

今後の対応：研究者への周知・啓発を行っていききたい

根拠データ登録の状況

即時OA義務化対応要領に記載はあるけれど…まだ0件
(即時OA義務化対象業績自体が0件)

2026年度以降の科研費など、業績が増えてくると、
今後は出てきそう

今後の課題：

原稿依頼時に併せて「あれば根拠データの提出」を依頼？
(リポジトリへの登録方法は固まっていないので、これから)

まとめ

本学は独自の業績DBから論文一覧を取得し、
登録依頼を行っている

2024～2025年度にかけて、
即時OAに対応するための業績DBの改修を行った

今後は即時OA義務化制度についての周知が課題である